

第 171 号 発行日 平成 23 年 3 月 7 日

# 合格通信

今  
月  
の  
名  
言

たとえ3日間の手伝い仕事であっても、その仕事に一生のような心構えで真剣に立ち向かうならば、そこから必ず大きなものを得ることができる。

松下幸之助  
(松下電器産業創始者)

これは、塾生のみなさんと、特進スクールを訪れてくれた、小中高校生の皆さんとお問い合わせいただいたお父さん、お母さんに向けて、勉強法や受験に役立つ話題をお届けする情報誌です。

## 名曲喫茶 吉祥寺「こんつえると」篇

中央線の吉祥寺には「こんつえると」と「バロック」という名曲喫茶がありました。「こんつえると」は北口のプチロードにありましたが1989年に閉店。「バロック」は今でもあるかと思います。「こんつえると」も「バロック」もコーヒーは当時としては高いほうで500円でした。「こんつえると」は商店街の中心にあり立地がよく、夕方から夜にかけてはよく満席になっていました。伝票がわら半紙に店名の判子を押し込んだもので店内にスピーカが1台しかないのは、2台のスピーカでステレオ録音を聴くには視聴ポイントが1点に限られるからだそうです。



あるときブルックナーの交響曲第7番の2楽章をリクエストすると、フルトヴェングラーの演奏がはじまり中間部のワーグナー追悼のために書かれたブルックナーが作った極上のメロディーが流れると店内にいた全員が凜とした空気のなかであまりの美しさに呆然と聴き入っていました。

ここのマスターは当時60台後半ぐらいで、店舗の2階に住んでいたようですがめったに店に姿を現さず、あるとき店のストーブが調子悪いときに見に来て、そこで初めて見かけました。このころ一般人の音楽サークル「四季」のメンバーだったので、ここの仲間から「吉祥寺のこんつえるとが閉店した」ことを聞かされ「夕方なんか行くと満席だったじゃん」というと「そう、コーヒーは500円もするし」皆驚いていました。閉店するときは所蔵のLPを常連に配ったという話を聴きました。・・・もらいたかった。



こんつえるとのマッチ。いまだに持っています。この絵の門が入り口でした。